



芳賀町長 見目 匡

あけましておめでとうございます。皆さまには清々しい新春をお迎えのこと心からお慶び申し上げます。日頃から町政に対しご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年は「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」を将来像とする第6次芳賀町振興計画の中期基本計画を策定し、芳賀町を持続可能な町とするための取り組みを加速させてまいります。

宇都宮市と共同で進めているLRT(次世代型路面電車)事業は、開業に向けて軌道敷設工事などを行います。

栃木県企業局と連携して整備している芳賀第2工業団地は、既存工業団地に隣接した約23ヘクタールの造成工事に着手し、優良企業の誘致と早期操業開始を目指します。

昨年10月には、町内の全自治会の自主防災組織と町との2度目の合同防災訓練を実施しました。各自自治会においては、それぞれの地域の実情に即した訓練が行われました。この直後に過去最大級といわれた台風19号が襲来した際は、町民の皆さまの「自助」や「共助」の意識の高まりにより、さまざまな活動が行われました。

また、交通安全協会や自治会など関係団体と連携し、町内の交通事故危険箇所点検を実施しました。本年も地域一体となり、実践的な防災訓練や交通安全のための点検などを継続して行い、災害に強く、安全安心に暮らすことができ、皆さまに住み続けたいと思っていたいただけるまちづくりを進めていきます。

新たな取り組みとして、人が集まる魅力的な地域を創生するため、かしの森公園を再整備するほか、ロマンの湯や道の駅はがと一体となった回遊できる施設の整備と、芳賀遊水地に桜を植樹し桜堤とする整備を進めます。

福祉分野では、昨年4月から拡充させた、小中学生が県内医療機関で受診した場合に現物給付とすることも医療費の助成に加え、本年は現場組織を見直し、妊娠・出産・子育ての窓口をワンストップ化し、一体的な支援による住民サービスの向上と少子化対策の強化を図ります。

結びに、本年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

令和2年1月



芳賀町議会議長 小林 信二

あけましておめでとうございます。町民の皆さまには、お健やかに新年を迎えられたことと拝察し、心よりお慶び申し上げますと共に、令和最初の新年が輝かしい一年になりますことをご祈念申し上げます。

昨年は、10月に襲来した台風19号により県内外各地に甚大な被害がもたらされてしまいました。本町において被災された皆さまには、衷心よりお見舞いを申し上げますと共に、被害が特に甚大だった佐野市や栃木市の被災された方々の一日も早い復旧と復興を願っております。

また、4月の統一地方選では、4人の新しい議員を迎えまして「新鮮な風」を受け、令和2年度から始動する町振興計画中期基本計画の策定に伴い斬新な発想で、町政に対する活発な議論と協議を進めて行きたいと考えております。そのためにも、昨年のラグビーW杯の日本チームが身体を張って「ONE TEAM」で示してくれたとおり、町民の皆さまと町と議会が一丸となる大切さを実践してまいります。

人口減少問題を改善するための定住促進対策

として、平成30年度から分譲を開始した「祖陽が丘」に真新しい家々が建ち並ぶ様子には、本町の魅力や潜在能力の高さが実感でき、残る区画の分譲による更なる発展に期待を寄せております。

LRT(次世代型路面電車)については、町内においても軌道予定沿線部で目に見える形で、工事が進められております。この2つの住環境・交通環境分野が順調なのは、町勢の調和と高揚の表れでありますが、これに慢心することなく、子育て・健康福祉の分野においても傾注し、本町だけではなく県内全自治体が共に充実していくよう願っております。

東京オリンピック・パラリンピックが開催される記念すべき本年が、町民の皆さまにとりまして幸せで和やかな年になりますようご祈念申し上げます。皆さまに支えられている自覚と矜持を持ち、議員一同「ONE TEAM」で頑張っております。今後も議会に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。

令和2年1月